



社会福祉法人おおぞら会 広報紙

SSKP

はばただより

vol.143



～うるおいのある日々を～

笑ったり、集中したり、おいしいものを作って食べたり…
制約のある日々の中でも、野ざきの家にきたらホッとする
そんな場所であるように…もう少し皆さんで楽しみましょう

野ざきの家



サポートネットあすは

《移動支援・同行援護・行動援護・居宅介護事業》

「サポートネットあすは」は障害者の方の支援を行うガイドヘルパーを派遣していますが、新型コロナウイルス感染拡大により、利用者の方々は思うように外出できない日々が続いています。また、その楽しみを実現してくれるヘルパーさんも派遣の仕事が減少してしまう状況となり、事業所としても苦しい日々が続いています。拡がる感染にワクチン接種も追いつかない状況ですが、長いお出かけや、楽しい外食を我慢されていた方々が、自由に外出できる日が早く戻ることを願うばかりです。

このような状況下ではありますが、利用者のみなさんの楽しみを少しでも増やしていけるように、あすはではガイドヘルパーを養成する研修を行っています。ガイドヘルパーは登録制ですので、講習を受講し、事業所に登録していただき、好きな時間や自分のペースでお仕事ができるのも魅力的で、受講者には主婦の方や学生さんなどもたくさんおられます。今年度は、募集定員を8名に限定して再開し、この6月に一回目の研修を無事終えることができました。一時期は減っていた応募も、このところ毎回定員を超えるご応募をいただき、今回は定員を減らしていたこともあり選考の上お断りする方も出てしまいました。しかしそれは、このコロナ禍が明ければ共に働くことのできる仲間がまだまだ潜在的にいるということですから、今はとにかく、地道にできることを積み重ねていこうと思います。

6月の実習では、江戸東京博物館に行きました。利用者の皆さんには、久しぶりのグループ企画となり楽しんでいただけた様子でした。実習生からも「利用者の皆さんのやさしさが伝わってきた」、「利用者の方々と楽しい雰囲気共有できた」という声をいただき、ガイドヘルパーのお仕事にやりがいを感じていただけたようです。養成研修を受けた方々が、それぞれ現場で活躍していただけるよう、事業所もがんばっていかないとけません。



実習では声かけや何をサポートするかなど職員から学びます



ヘルパーさんと一緒なら知らない場所でも安心！

「サポートネットあすは」は、利用者・ヘルパー・外出先で出会う人々・地域の方…と沢山の方が関わり成り立っている事業所です。これからも、それぞれの立場や思いを大切にしながら、地域に貢献できる事業所を目指していきたいと考えています。

あすはが行っているガイドヘルパー養成研修は年に2回。興味関心のある方は武蔵野市、またはあすはのHPなどで、日程をチェックしてください(次回は11月の予定です)。また、皆さまのお住まいの自治体でも行っているところもありますので、ぜひヘルパーの輪を広げていけたら嬉しいです。

(管理者 柳井 美和子)

野ざきの家

【小規模多機能型居宅介護】



野ざきの家には最大20名の地域の高齢者の皆様が登録をされ、サービスを使いながら地域生活をされています。今回は、その中で約5年と利用期間が長く、利用開始時より介護の形が変わって行ったMさんのことについて触れてみたいと思います。

Mさんはとても明るく、歌や踊りの大好きな女性で、息子さんと一緒に住んでいます。野ざきの家で「泊まり」や「通い」を利用しながら在宅生活を続けていましたが、今年の3月に体調不良の為入院をしてしまいました。その際に「自宅に帰るには相当な回復が無いと難しい」と医師から告げられました。高齢になると、一度体調を崩すとその回復は思っている以上に難しくなるのです。

しかし入院し3か月が経過した6月の初旬、入院先の病院より「回復に向かっており退院できる」との一報をいただいたのです。でもそれは『自宅でもケアが出来る体制が取れるなら』との条件付き。さっそく、今後についてカンファレンスが行われましたが、参加した息子さんは、もちろん不安が大きいようでした。しかし“自宅で母の介護をしていきたい”との思いもあり、そこに野ざきの家として支援をどうできるか、皆で考えました。支援者の「出来る・出来ない」ではなく、「ご本人も今まで生活していた自分の家でずっと暮らしていきたいと思っている」という視点に立ち、ならば我々もその思いに添えていけるようにしようと、実際の支援をイメージしていきました。そしてMさんは無事退院され、在宅生活を再開されたのです。

野ざきの家のサービス形態は『通い・泊まり・訪問』があり、いずれも利用する事ができます。「ご本人の状態、状況に合わせ柔軟にサービスを調整する」…Mさんの場合もその特徴を生かした支援計画を立てました。これまで「通い」「泊まり」のサービスをバランスよく使いながら生活を組み立てていましたが、退院後はベッドでの時間がほとんどになったため、「訪問」に軸を切り替え、ご自宅に我々がおじゃまして清潔保持、食事介助等々をサポートしています。生活に合わせ、フレキシブルに訪問時間を組み立てられるのは、小規模多機能型のよいところ。主役はご本人、息子さんですので、私たちは側面から“どこにどう支援が入ればお二人の生活の支えになるのか”を常に考え、専門職としての技術・知識を高め、ご自宅での介護をより良い時間へ導いていきたいと思っています。

息子さんは訪問時には毎回一緒にケアに入ってくれます。中々できる事ではないです。「僕は祖父母、父の介護もしてきたので。その時は母も一緒に介護していて。急に寝たきりになったわけではなく、歩き回ったり夜中寝なかつたり色々な経過があつて。野ざきの家の皆さんと5年近くやってきて。今こうやって自宅にも来てくれて本当に助かっています。」とおっしゃっていました。様々な歩みの中でも、そこには家族への揺らがらない思いがあるのだと感じます。「住み慣れた自宅以最期まで」とは言われていますが、その立場にならないとイメージが湧かないのも事実です。野ざきの家の職員一同、日々Mさんと息子さんを通じて気付きの連続です。息子さんは「僕に何かこれからの人たちに伝えられることがあれば…」とおっしゃってくださいました。きっとこれは支援者が制度や知識を伝える事よりも、介護を考える方の心へずっと入っていくような気がします。今後も、現場の声、家族の声、さまざまな日常を発信していきたいと思っています。

(支援員 甲斐康修)

工房 時【就労移行支援・就労継続B型】

でかけずにさくらんぼ狩り???

まだまだ残暑が厳しいですね。

新型コロナウイルスは収束するどころか、益々感染者が増えています。ワクチンの接種は進んできましたが、まだまだ対策は十分ではなく、感染の早さに追いついていないのが現状です。工房時でも検温、換気、消毒、手洗い、マスク着用とコロナ対策の徹底を続けています。おもむく食堂は席数を少なくしてアクリル板で仕切り、お客様の検温を行うなどの対応をして営業を続けています。しかし、どこも同じような状況だとは思いますが、工房時でもほとんどの行事やイベントを中止、もしくは縮小させています。特に所員が毎年楽しみにしている旅行、カラオケ、新年会などの行事は行うことができていません。そんな状況のなか、毎日仕事をがんばっている所員が楽しんで、感染リスクを避けながらできる行事はないか？と考えていたところ、ある旅行会社のチラシを目にしました。

『出張さくらんぼ農園』…何ということ？さっそく内容の確認をしたところ、「スタッフが出張し、さくらんぼ狩りができるセットを設営して体験ができる。さくらんぼは山形から直送されたもので山形牛のお弁当付き」とのことでした。公共交通機関での移動がなく、工房時の施設内という慣れた場所での開催なので感染対策がとりやすく、コロナ過でもみんなが楽しめる行事になるのでは、と考えました。旅行会社の方と何度も打ち合わせをして、3階テラスを農園にみたくて設営していただくこととなり、いよいよ開催となりました。



立派なさくらんぼの木！さてどれを取ろうかな？

当日は所員16名(約半数)が参加しました。「工房時で？どんな感じでさくらんぼ狩りをするの？」と期待と不安が半々でしたが、朝からスタッフの皆さんが手際よく農園？を設営している様子を見てみると、みんなテンションが上がってきました。久しぶりの行事感！忘れていた感覚です。思っていたよりも(旅行会社の方すみません！)りっぱな農園ができ上がりました(写真参照)。さくらんぼ狩りが始まる前にスタッフの方から説明があり、何となく旅行っぽい！と感じました。久々のわくわく感です！



農園らしく飾られた入口にテンションも上がります！

クリップで止めてある(笑)さくらんぼを収穫し、大粒のさくらんぼを頬張り(絶品です)、お土産ももらいみんな満足そうでした。「なんか旅行みたいだね」「さくらんぼが大きくて美味しかった」「写真がいっぱい撮れて楽しかった」「山形牛のお弁当が美味しかった」といった感想が聞かれました。初夏の休日、少し旅行気分が感じられ、楽しい時間を過ごすことができました。

(管理者 立野信行)

アクティビティセンターはばたけ 【生活介護事業】

夏の日差しと蝉の声を聞きながら、朝から元気な声で「おはよう！」というあいさつが響くはばたけ。何気ない「コロナはいつ終わるの？」という問いかけにすっきりと答えられず、もどかしさを感じます。

「なかまを感じられる実践を」「地域に出ていく取り組みを」「見通しやわかりやすさを大事にしていこう」と職員間で共有してきたことが、こんなに難しいと感じる日々が続くとは思いませんでした。



今年度に入っても、5月の新緑を歩くハイキング企画「野川ウォーク」、夏場のプール活動も見合わせているところです。「今できることを一つずつ、感染対策しながらすすめていこう！」…と、もうそれしかないのですが、悲観していても始まりません。

少しでも開放的な空間を作ろうと、屋上やベランダで昼ごはんを食べたり、お茶席を設けたり。そして、近隣の公園へのお散歩や公園清掃のお仕事も、少人数でこまめに出かけています。マスク越しですが、近隣の方との何気ない挨拶や「公園きれいになったね！」のお言葉に励まされています。ご近所から七夕の笹もいただくことができ、みんなで願いを書きました。

一方でワクチン接種も進んでいます。利用者の中にはマスクをすることが苦手な方、基礎疾患をお持ちの方もいてワクチン接種を望まれる方が多いのですが、中には注射が苦手、じっとしていることが難しい…と接種に躊躇することもあり、ご家族やグループホームと連携を取り合いながらフォローをしています。そうやって、少しでも早く安心できる日常が戻ることを願うばかりです。



大好きな電車に乗って出かけられますように…

そして引き続き、はばたけでは広いスペースで換気しながら、みんなが大好きなダンス活動、音楽療法、ポッチャ体験なども続けています。「やってみよう！やってみたい！」という声やアイデアを集め、今できる活動にチャレンジしていきたいと思えます！！

(管理者 柴田信)



パラリンピック競技のポッチャ！白熱です！



食堂を開放して、体をうごかそう！

2020年度 社会福祉法人おおぞら会後援会 事業報告

- 活動… はばたけだより紙面にて活動・決算報告、次年度活動計画及び予算案掲載
- 会計報告 下記収支報告書をご確認下さい。

2020年度 おおぞら会後援会 資金収支報告書

2021/5/17 14:42
単位:円

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	予算対比	科目	予算額	決算額	予算対比
会費	1,030,000	750,000	72.8%	事務費	65,000	23,615	36.3%
個人	1,000,000	720,000	72.0%	旅費交通費	0	0	#DIV/0!
団体	30,000	30,000	100.0%	消耗・器具	5,000	0	0.0%
寄付金	70,000	98,000	140.0%	印刷製本費	5,000	0	0.0%
個人	50,000	78,000	156.0%	会議費	10,000	0	0.0%
団体	20,000	20,000	100.0%	通信運搬費	10,000	0	0.0%
事業収入	0	0	#DIV/0!	手数料	30,000	23,615	78.7%
イベント	0	0	#DIV/0!	雑費	5,000	0	0.0%
物品販売	0	0		事業支出	0	0	#DIV/0!
	0	0		イベント	0	0	#DIV/0!
	0	0		物品販売	0	0	
	0	0		仕入	0	0	
	0	0		バザー・祭り	5,000	0	0.0%
	0	0		経費	5,000	0	0.0%
バザー・祭り	0	0	#DIV/0!	寄付金支出	1,000,000	500,000	50.0%
はばたけ	0	0	#DIV/0!	法人へ	1,000,000	500,000	50.0%
社協バザー	0	0	#DIV/0!				
ガレッジ	0	0					
あすは	0	0	#DIV/0!				
時・野ざき	0	0	#DIV/0!				
雑収入	11,000	0	0.0%				
利息	1,000	0	0.0%				
その他	10,000	0	0.0%				
収入計	1,111,000	848,000	76.3%	支出計	1,070,000	523,615	48.9%
横京精調査の結果、上記実績額のとおり相違ありません。				当期収支差額	41,000	324,385	791.2%
令和3年5月17日 会計監査 中島 藍				前期繰越金	907,472	907,472	100.0%
				次期繰越金額	948,472	1,231,857	129.9%

貸借対照表

現金	306,274	仮受金	2,478,000
預金JA	0		
振替口座0	2,571,676		
振替口座8	831,907		
仮払金	0	次期繰越金	1,231,857
計	3,709,857	計	3,709,857

貸借と資金収支の整合性
○ (次期繰越の一致確認)

2021年度 社会福祉法人おおぞら会後援会 事業計画

昨年同様、コロナ対策のため、下記の通り提案いたします。何卒ご了承下さい。

- 活動 後援会総会は中止とさせていただきます。開催が確定次第、参加検討いたします。
- 広報 はばたけだより発行に合わせて、後援会の記事を掲載いたします。
- 会計 下記収支予算案をご確認ください。
- 役員体制 現任の役員の皆様が二年目の任期となります。

2021年度 おおぞら会後援会 収支予算案

2021/5/17
単位:円

収入の部				支出の部			
科目	2020決算	2021予算	前年比	科目	2020決算	2021予算	前年比
会費	750,000	930,000	124%	事務費	23,615	50,000	212%
個人	720,000	900,000	125%	旅費交通費	0	0	
団体	30,000	30,000	100%	消耗・器具	0	0	
寄付金	98,000	120,000	122%	印刷製本費	0	5,000	
個人	78,000	100,000	128%	会議費	0	0	#DIV/0!
団体	20,000	20,000	100%	通信運搬費	0	10,000	#DIV/0!
事業収入	0	0		手数料	23,615	30,000	127%
イベント	0	0		雑費	0	5,000	
バザー・祭り	0	0	#DIV/0!	事業支出	0	0	
はばたけ	0	0		イベント	0	0	
社協バザー	0	0	#DIV/0!	バザー・祭り	0	0	#DIV/0!
ガレッジ	0	0		経費	0	0	#DIV/0!
あすは	0	0		寄付金支出	500,000	500,000	100%
時・野ざき	0	0		法人へ	500,000	500,000	100%
雑収入	0	0					
利息	0	0					
その他	0	0					
収入計	848,000	1,050,000	124%	支出計	523,615	550,000	75%
				当期収支差額	324,385	500,000	
				前期繰越金	907,472	1,231,857	75%
				次期繰越金額	1,231,857	1,731,857	75%

備考
・コロナ禍で活動未定のため、最低限の収支を見込むものとしました。
・法人への寄附予算額を500,000円としました。

おおぞら会後援会ニュース

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、よき新春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

コロナ禍においては一向に落ち着きが見えないなか、皆様の暮らしの変化とともに法人・事業所の活動にも制約が生じております。障害のある方や介護が必要な高齢者の方にとって、環境の変化が大きなストレスとなることも多く、早期の収束を願うばかりです。

おおぞら会に関わる利用者・ご家族さま、コロナ対応に従事する職員・関係者の皆様には引き続きご自愛くださいますようお願い申し上げますとともに、後援会活動にお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略・順不同）

個人127名 法人3社の方々から、ご入会・ご更新のお手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略・順不同）

個人14名 法人1社の方々から、後援会へご寄附をいただきました。ありがとうございました。
ご寄附は大切に活用させていただきます。

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附（敬称略・順不同）

個人9名 法人3社の方々から、法人・各事業所へご寄附をいただきました。
ありがとうございました。ご寄附は大切に活用させていただきます。

（以上、R2.7/1 ～ R3.3/31 集約分）

後援会を通し、法人の発展のため大切にに使わせていただきます。
皆様ありがとうございました。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

information

工房時のうどん屋さん



おもむく食堂

夏限定! 数量限定!
サラダうどん!

☆多営業時間 火曜～金曜 11:30～13:30
☆多定休日 月曜・土曜・日曜・祝日・祝日明け
詳しい営業日は0422-30-5571までお問い合わせください。
右のQRコードから飛べるツイッターにも営業情報がありますのでご利用ください。 おもむく食堂ツイッター

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ つなぐなかまの家・さくらハイツ・つむぎの家 (共同生活援助) | | tel 0422-26-1320 |

私の住む自治体は、ニュースでも取り上げられたくらい早い対応でワクチン接種を進めていた。私も職業柄、比較的早い段階で接種できたのだが、一回目の集団接種会場では開設初日というタイミングもあり会場の外から混乱状態。並ぶ場所もわからず時間が過ぎ、あちこちから苛立ちの声が上がっていた。おそらく市役所職員であろう受付の人は平謝りで右往左往…なんとか外にあふれた予約者をさばっていた。三週間後の二回目、声かけや動線も工夫され、様々な修正がされていて前回より20分早く接種を終えることができた。あれこれ変わる国策に、自治体も一日一日必死で対応しているのだとあらためて感じた。テレビではオリンピックの雄姿と医療従事者の悲痛な訴えが交互に流れる。それぞれの葛藤とがんばりが報われますように…。 (いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 【頒価 50円】

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子